

新製品紹介

SFP-DD ケージ & コネクタ

- 2レーンインターコネクタにて、28G NRZおよび56G PAM-4信号伝送を実現。
- 下位互換性のあるインターフェースにより、簡単にシステムの統合が可能。
- 業界をリードするサーマル(熱)管理を実現。



TE Connectivity (TE) の I / O インターコネクタ用の小型フォームファクタダブル倍密度 (SFP-DD) 製品には、ケージ、表面実装コネクタ、ケーブルアセンブリのラインアップがあります。本製品は、SFP-DD マルチソースアグリーメント (MSA) によって、開発されました。SFP-DD は、昨今の業界最小の Small Form Factor の 1 つであり、データセンターシステムを 2 倍のポート密度でより高速なデータ転送速度で動作させることができます。また、当社の SFP-DD コネクタおよびケージは、さまざまなメーカーが製造したモジュールコンポーネントと相互運用可能です。QSFP28 / QSFP56 ソリューションと比較して、アプリケーションでの省スペース化を実現します。

アプリケーション

- スイッチ
- サーバー
- ルーター
- ストレージ装置
- 基地局
- 高速を必要とするその他のアプリケーション I/O データ送信

ターゲットマーケット

- ネットワーキング
- データセンター
- ワイヤレスインフラストラクチャ

電気的特性

- 動作周波数: 28GHz NRZ、56GHz PAM4
- 公称インピーダンス: 100オーム
- SI パフォーマンス:
 - 28GHz: IEEE802.3bj に準拠
 - 56GHz: IEEE802.3cd に準拠
- 温度定格: -55°C ~ +85°C

材料

- 内部端子: NiCu
- ハウジング: LCP
- アウターボディ、ステンレス

主な利点

- 高密度。シグナルインテグリティが高い 2レーンインターコネクタ。SFP28 / 56 よりもコンセプトは QSFP-DD 表面実装技術 (SMT) 設計を活用しています。SFP28 / SFP56 ソリューションと比較して、SFP-DD ケージとコネクタは 2 倍の密度と 2 倍の速度を提供し、2 つのチャネルを介して最大 112Gbps を伝送可能。
- 下位互換性
- 省スペース化-PCB とフェースプレートの省スペース化 QSFP28 / QSFP56 と比較して 解決。機能がアップグレードされた 1 つのポート: 2 つのチャネル 28G NRZ および 56G PAM-4 に拡張
- 業界をリードするサーマル(熱)管理-TE の革新的な熱橋技術により優れた熱管理を提供。
- カスタムソリューションで設計の柔軟性を提供。

規格と仕様

- 製品規格: 108-130026
- 取付適用規格: 114-60027

機械的特性

- 挿抜回数: EIA-364-9 ごとに 100 回
- 1 マイクロ秒以上の不連続性は無し EIA-364-28 に準拠した持続時間振動

詳細

[製品ページ](#)

[顧客用プレゼンテーション](#)

[電子カタログ](#)